

## 「市役所ひろば会議室」の実施状況について

### 1 現在開設中のテーマ

『インターネットを使ったコミュニケーションを考える～電子会議室ご意見箱～』

### 2 テーマの趣旨

電子会議室の現状と課題を示し、インターネットを活用した市民同士又は市民と行政のコミュニケーションについて、運営委員会委員と参加者との意見交換を行う。

### 3 実施期間

平成18年6月15日から平成19年3月31日まで

### 4 進行役

ウェブマックス株式会社

### 5 実施状況（11月29日現在）

参加者数 28名

発言数 139件

### 6 主なコメント

別紙のとおり 前回の運営委員会（8/22開催）以降の発言

### 7 その他

文字色の改善の実施

「電子会議室ご意見箱」での主なコメントについて（8 / 2 2以降）

#### 【不規則発言・事前チェックについて】

事前チェックを行うことにより、発言の文責所在が曖昧になる。誰かの発言を不掲載とした場合、その判断が適切であるか否かを第三者が検証できない。議事運営上の不都合があればいったん掲載した上で削除すればよいと思う。

インターネットコミュニティの利点は即時性と双方向性にあるが、管理者が交通整理することにより、都合のよい情報しか流されない一方通行のマスメディア化してしまう恐れがある。インタラクティブメディアのよさが生かされないではないか。

人と人とのコミュニケーションは仲良くすることだけではない。何らかの問題が提起され、それに対する見解や対策案をぶつけ合えば、当然異なる意見を持つ物への批判や利害関係者への批判を交わすことになる。運営側の用意した話題だけでは、批判もできず表面的な議論になるのではないか。

人と人が向かい合ってコミュニケーションをするためには、それなりの思いやりと配慮、空気を読むことが必要なのではないか。その思いやりが伝わったときにコミュニケーションが進むと思う。運営ルールはその趣旨を踏まえたものではないか。

掲載すべきではない発言は確かに存在するので、削除するシステムは必要だ。ただし、ルールで決められたこと以外は原則掲載にすべきだ。削除要請があった場合はチェック委員会に諮問して結論を得る方法を採用したらどうか。

スパムメールやクラッキングなどを防御する目的でも事前チェックは必要ではないか。

「市政への批判」に関する発言についての掲載基準がないのではないか。

プライマリーチェックは、参加が増えてくると運営側だけでチェックすることが事務的に無理になる。参加者全員の目でチェックし、不適切な表現があることに気が付いた人が運営側に報告するシステムを導入してはどうか。

#### 【テーマ設定について】

今までの会議室の議題は「官製の」議題が多いので注目されることは少なかったようだ。市民に活発に閲覧してもらうためにも、「会議室のお題を募集しています」とPRすればどうか。行政としては、そのような身近な話題の中から行政に対する潜在的な課題を探れれば良いと思う。

#### 【広報、運営方法について】

電子会議室に関するコンテンツのあり方についての議論がなされているが、ニーズや広報についての分析はしているのか。多くの市民はこの会議室の存在そのものを知らないと思う。

テーマを設定することによって入口が狭められているが、書き込み練習用会議室が、この問題点を解決する手掛かりになるのではないか。